

最優秀賞に和野光代さん



町産業振興協議会(会長・鈴木重男町長)が募集した山火事防止標語コンクールの表彰式は5月16日、植樹祭に先立ってふれあい宿舎グリーンテージ駐車場で行われました。

応募総数106点の中から9点に表彰状と副賞が贈られました。表彰された方々は、次のとおりです。

最優秀賞

和野光代さん(浦子内)

優秀賞

遠藤友里さん(小屋瀬小5年)
安東航希くん(江刈小6年)
大上愛莉さん(江刈中2年)

優良賞

関川岳樹くん(江刈小2年)
上家萌香さん(吉ヶ沢小4年)
下川原涼弥くん(江刈小6年)
波紫啓太くん(江刈中1年)
木戸場涼太くん(江刈中2年)

最優秀賞

「山火事防止

山の神が見てる
あなたのマナー」

和野光代



林業の担い手

田鎖利光さん(29・葛巻町森林組合)

6年間の自衛隊勤務から林業へと転身して5年目の田鎖さん。「70歳になったとき、今植林しているカラマツを自分で伐採するのが夢。ストレスを感じない山仕事は最高!」と、現場の作業班・下道班で造林作業に精を出す田鎖さん。「地味ですけど、地球の未来のために大切な仕事ですよ」と自信をのぞかせました。

山のプロ 後継者を育て、林業と地域をもっと元気に

町の面積の86%を占める山林。先人の努力や知恵を受け継いで豊かな山林を未来へ伝えるため、現場で造林や間伐などの作業をしている山のプロたちがいます。このプロ集団は、葛巻町森林組合(中崎和久組合長)の作業班に所属する皆さんです。九人の組合直営の班長のもと、四十四人が苗の植付け、下刈り、間伐などを手際よくこなしていきます。高性能な機械を操って、伐採も見る見るうちに完了。まさにプロのなせる技と言えます。

林業従事者の後継者不足が叫ばれる中、同組合には若い後継者が育っています。国の「緑の雇用担い手対策事業」によって、平成十五年度から昨年度までに研修を終えた十五人が就業。本年度も四人が作業班に所属して研修を始めています。森林の担い手の確保は、健全な森林を未来に届けるためにも、地域で暮らす人を増やし、山村の活性化につなげるためにも大事なことです。「葛巻の林業と地域をもっと元気に」と、山のプロたちは今日も懸命に働きます。

「元気に育ってね」と願いを込めて植樹する吉ヶ沢小学校の六人



守る!

豊かな森林

緑豊かな森林は、木材生産のほか地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収や水源のかん養、憩いの場など私たちの生活に欠かせない働きを持っています。この貴重な財産である森林と環境を大切に守り、育むためにさまざまな取り組みが行われています。

豊かな森林みんなの手で 児童ら参加して植樹祭

町では、「豊かな森林を守り、育てよう」と、植樹祭を開催しています。本年は、新緑のまぶしい五月十六日、埼玉県の藤島建設が開設している企業の森「ふじしまの森」

で町内の全五小学校の代表七十九人のほか林業関係者など約三百人が植樹活動を行いました。

「豊かな森林は町民の誇りであり、財産。未来へしっかりと伝えたい」と、鈴木重男町長が力強くあいさつ。参加者からは、県企業局などから提供されたヤマツツジやベニヤマザクラなど百七十四本をていねいに植え付けました。作業を終えた五日市小学校六年の本宮佳央理さんは「木の根っここの強さに驚いた。水をいっぱい吸って私たちを守ってほしい」と願いを込めました。

地域の森林を守っていくために、子どもたちをはじめ多くの町民がかかわって、森林と親しみ、森林を守り育てる意識を高めた一日となりました。

豊かな森林は町民の誇りで財産 未来へしっかり伝えよう 第10回植樹祭



④ 3.5%の再造林を約2週間でこなす下道班(左から瀧澤久雄さん、田鎖利光さん、藤元次男さん、班長の下道昭男さん) ⑤ 緑の雇用事業で伐採技術などの研修を重ねる若き後継者ら



企業の森3カ所目

山形県の(株)シェルター

社員とその家族約30人が参加して5月24日、江刈川で行われた植樹祭



町内に3カ所目となる企業の森が開設されました。葛巻町産のカラマツ集成材を利用して木造建築の設計施工を行っている(株)シェルター(本社山形市・木村一義代表取締役)が、会社の方針として掲げる環境保全の一環として取り組んだもの。

企業の森は、民有林を取得した「ふじしまの森」と「こいわの森」に続くものですが、シェルターでは、土地所有者の高吟製材所の高橋宏寿社長と、町森林組合の三者による相互サポート協定を結んで、苗木の提供や社員ボランティアを派遣するなど環境への貢献を進めていくことを約束しました。